

～北九州市にぎわいづくり懇話会～

第1回 企画調整委員会 次第

1. 企画調整委員長 挨拶

2. 各委員の自己紹介

※北九州市のにぎわいづくりについて

3. 企画調整委員会の進め方

(1) 事業内容の説明

【インセンティブ】

- 北九州市及び懇話会による広報活動（『広告』ではなく『記事』）
- 懇話会事業という“お墨付き”（社会性のある事業だという認知）
- 企業連携・交流の促進（利害関係を越えた仲間づくり）

(2) 次回以降の進め方について

(3) 質疑応答

4. 次回の日程調整

10月 日（ ） ※第1週の終わり～第2週のはじめ

5. その他

事例紹介（仙台市、横浜市）

企画調整委員会事業（案）について

（１）趣旨

民間主導で行うＶＩのパイロット事業を企画立案し、実施につなげるもの。
事業は、将来ビジネスベースとして継続されるものとする。

（２）プロジェクト案

北九州市集客交流計画（にぎわいづくりプラン）で示す事業など

（例示）

○九州新幹線全線開通（２０１１年）に向けた振興策

南九州からの誘客促進

○ビジターズ・パス事業

市内の観光地や施設などを訪問した方にポイントを付与し、ポイント数に応じて商品等をプレゼントする事業。

○ナイトカルチャー事業

来訪者や観光客が夜も楽しめる環境を整備し、宿泊を促進する。

○屋台村

小倉都心部に本市の食材を使った料理等が手軽に味わえる屋台村を設置する。

○市制４５周年事業

市制４５周年記念として、市民の方々が北九州市をもっとよく知り、愛着をもてるようなツアー等を実施し、市制５０周年に向けた盛り上がりをつくる。

（３）プロジェクトチーム

委員を３つのグループに分け、それぞれに関係事業者・団体を加え、プロジェクトチームを編成する。

〈例１：九州新幹線全線開通対策事業〉

・ＪＲ九州、観光協会、小倉中央商連、コンベンション協会、ＪＡＴＡ（日本旅行業協会）、商工会議所、北九州市など

〈例２：ビジターズ・パス事業〉

・エアターミナル、観光協会、ホテル協議会、民間集客施設、商工会議所、北九州市など

〈例３：ナイトカルチャー事業〉

・映画館、芸術劇場、観光協会、ホテル協議会、ＮＰＯ団体、商工会議所、北九州市など

〈例４：屋台村事業〉

・観光協会、ホテル協議会、飲食団体、農協、漁協、商工会議所、北九州市など

〈例５：市制４５周年事業〉

・交通事業者、市内企業、商業団体、飲食団体、商工会議所、北九州市など